



いわて生協 復興支援活動ニュース

2018年11月号

2018年10月26日発行

いわて生協 組合員活動チーム
電話：019-603-8299
FAX：019-687-1117

急に肌寒くなり、秋の気配を感じる季節となりました。朝晩は特に寒くなる日が増えましたので、お体に十分注意して支援活動を行いましょう。

医療生協さいたまと共同で健康フェスタを開催

2013年8月から毎月、大槌のふれあいサロンにボランティアや職員が参加してくれていた医療生協さいたまさんが、年1回健康フェスタを開催してくれています。今年は、会場を大槌から釜石に移して、9月21日青葉ビルで開催しました。健康チェックの後は健康へのアドバイスや簡単な健康体操や笑いヨガなどを行い楽しく過ごしました。



健康チェックの結果をみなさん真剣に聞かれています。



埼玉と岩手のボランティアメンバーの交流会



釜石のボランティアが作ったカレーに舌鼓！

今日会えるの
を楽しみにし
ていたのよ



お元
気
で
し
た
か？

盛岡のボランティアが行っていたサロンに参加していた住民の方たちとの再会。

リフレッシュツアーを企画＜釜石コープ＞

「被災された方々に、地元を離れて気分転換して元気を回復してほしい」と始まったリフレッシュツアー。仮設に入居されている方も少なくなっている現状で、今年が最後になるかもと計画した「大船渡温泉バスツアー」は、10月1日が台風の影響で延期になり、22日に22名の参加者で行いました。

陸前高田市のアバッセ周辺で買い物・ランチをし、お天気に恵まれ、遠くに高田の海を臨む陽の当たるリンゴ畑で、袋いっぱい真っ赤なリンゴをもぎました。そこで食べたリンゴは、すこぶるおいしかったです。大船渡温泉では、温泉に入った方と入らずにのんびり時間を過ごした方がいました。

帰りのバスもお楽しみもあり、バスを降りる時は「楽しかった」「また、連れて行ってくださいね」「何かイベントの時は声をかけてね」など満足していただきました。



ふれあいサロン

今月のサロンの様子



今月は大槌 5 か所、釜石 2 か所のサロンが終了になりました。

～大槌町小槌第 20 仮設住宅～

今回でサロンが終了。最後にみなさんと楽しく、交流しました。参加した時は 7 年も大槌に通うとは思っていませんでした。でもとても充実した 7 年でした。バスの中でボランティア仲間の皆さんの顔を見ていたらこのままサヨナラが惜しくなり、近いうちにボランティアみなんで会いたいと思いました。



大槌第 9 仮設 お別れ会

<参加ボランティアさんからの声>

定年後、家では何もすることがなく最初はバスボランティアからのスタートでした。その後サロンに参加することになり、手芸はできないので、コーヒー入れに専念し、男性の方が来た時には話し相手をしたりと自分のできる事をやってきました。楽しかったです。
(男性ボランティア)

最初はボランティアで何をするか不安でしたが、参加すると皆さん明るく元気をもらって帰ってきました。

あっという間の 7 年でした。最初は落ち込んでいた方も、日を追うごとに元気になり、この頃では私達の方が元気づけられていました。これで終わるのかと思うと残念です。

～釜石市桜木町仮設住宅～

今月でサロン終了となりました。昼食を豪華にし、皆さんと一緒に話ししながら食べました。「ちょうど 1 年だね」と短い期間でしたが料理の作り方を教えていただいたり、家族の話などたくさんお話した 1 年でした。最後に感謝の言葉をいただきとても嬉しく思いました。みなさん新しい住まいでも元気に笑顔で過ごして欲しいと思います。



食の支援



<生協料理サロン>

単独料理サロン

9 月 25 日	釜石市只越 5 号復興住宅	4 人	スタッフ 3 人
9 月 25 日	宮古市県営鴨崎アパート	5 人	スタッフ 3 人
10 月 12 日	宮古市県営黒田町アパート	8 人	スタッフ 4 人

黒田町公営住宅では町内会として公営住宅の住民の方達との交流に取り組んでいて毎月 2 回運動やゲーム、お茶会を行っているそうです。单身の方が多いですが、集まって話したり食べたりすることを楽しみにされているとの事でした。今回のさんまのすり身汁もまさに旬の時期でとても喜ばれました。

鴨崎アパート



パプリカは赤と黄色の 2 色で彩りよく



しょうがはたっぷりが美味しいよね！

黒田町アパート



すり身は私たちに任せて！

<ふれあいサロン昼食会>

15 人のボランティアで 5 回開催し、38 人の参加

バスボランティア

陸前高田と大槌のバスボラ終了



2011年の6月に発足したコープボランティアセンター（CVC）。岩手県内でも特に被害の大きかった陸前高田市大槌町を中心に活動を行ってきました。当初はガレキ撤去などの活動が中心でしたが、撤去が進むとコミュニティ広場の造成や花壇づくりなどの活動に移行しました。

当初は多数の団体が活動していましたが、時間の経過とともに活動団体は減少。CVCは同じ県内の団体ということもあり、これまで活動を継続していきました。

いわて生協の復興支援の取り組みは県内の仮設住宅に入居者がいるうちは続ける計画ですが、CVCの取り組みは3.4月の田老町漁協わかめ作業を除き一旦終了とします。現地ニーズがあれば、単発での活動は検討します。これまで通算179回、のべ6,509名の方に参加いただきました。（台風や大雨の活動は除く人数）あらためて、これまで活動されたみなさんに感謝申し上げます。

10月14日 陸前高田

最後の活動は、陸前高田の椿の里の草刈でした。関東地方の生協職員もあわせて20名ほどで活動。竹駒町の工房前のつばき畑では、実をつけた木もありました！早く地元の椿油が採れるといいですね。



9月に種まきをした大槌の菜の花の芽が出ていました！！

10月25日の朝の様子。シカがおいしそうに食べていたそうです・・・

沿岸でボランティア交流会を開催

10月6日、大槌町文化交流センター「おしゃっち」で沿岸3コープのボランティア交流会を開催。31名の参加。

サロンの開催やキットづくりなどそれぞれの関りの交流ができました。被災された方だけでなくボランティアの居場所になっていた活動だった事、今後も地域にあった形で進めていきたいと話しました。



交流会後、富山からボランティアに来られたフォークソンググループ「がくや姫」の歌声に癒されました。

キット作り

●○● キット作りありがとう ●○●

- ・ 箸入れ（水沢ぺこボラくらぶ）
- ・ ビーズストラップ（一関コープ）
- ・ キーケース（宮古DORAキットづくり）
- ・ ピンクッション（一関コープきららこ〜ぷ委員会）、
- ・ ふくろう（水沢ぺこボラくらぶ）

支援を ありがとう



お菓子のご支援

- ・ 「コープいしかわ」さん
- ・ 「生協しまね」さん

キットのご支援

- ・ 「コープえひめ」さん